

市場規模調査

1. 調査の方法

2005年11月から12月にかけて、特定保健用食品の表示許可を取得した全企業に対するアンケートの方式で、2005年度の品目別販売見込み並びに販売経路別売上げ構成の調査を実施した。許可取得の全数569品目を対象とし、そのうち426品目(74.9%)について回答があった。

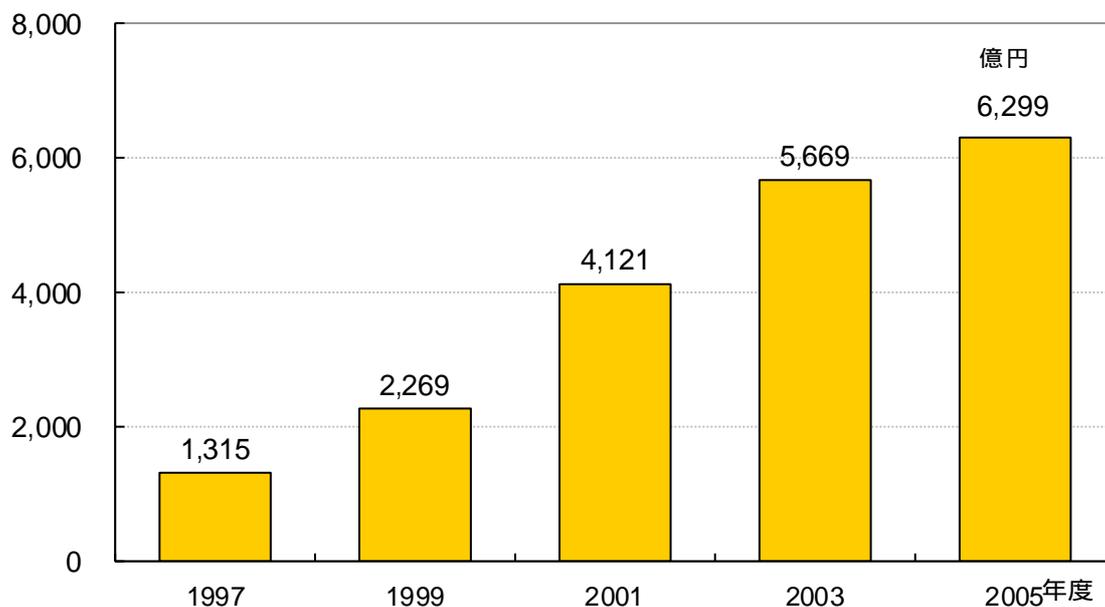
2. 集計結果

(1) 市場規模

2005年度の特定保健用食品(以下トクホと記述する)の市場規模は6,299億円(メーカー希望小売価格ベース)と推定され、当協会が調査した2003年度市場規模5,669億円に比し、金額で630億円、比率で11.1%増加した(図1)。

なお、売上げ見込み金額の詳しい情報が得られなかった品目については、それぞれ業界内の生産、販売統計その他から当協会が推定した。

図1. 特定保健用食品市場規模の推移



(2) 保健の用途別規模の増減

保健の用途別に見ると、金額が大きく伸びたものは中性脂肪・体脂肪関連246億円増(前回比38.6%増)、歯関連156億円増(同19.4%増)、コレステロール関連114億円増(同100.7%増)であった。(表1)

整腸関連は全体で3,706億円を占めており、乳酸菌は96億円増(前回比2.8%増)と微増で、トクホ市場全体に占める割合は58.8%(2003年比5.2ポイント減少)となった(図2)。

チューインガムを中心としている歯関連については、2003年に大幅伸張したが、2005年は16億円増(前回比19.4%増)と伸び率は緩やかとなり、整腸関連に次ぐ961億円(構成比15.3%)の規模となっている。

2003年以来伸びている中性脂肪・体脂肪関連は、主要品目である食用油が2005年も伸び続け、更に茶飲料などの新製品の上市があり、881億円(構成比14%)の市場となった。

コレステロール関連では食用油のほかに半固形状ドレッシング(マヨネーズタイプなど)が寄与し、114億円増(前回比100.7%増)の市場となった。

血圧関連は新関与成分の品目の上市による増加が著しく、60億円増(前回比67.7%増)となった。

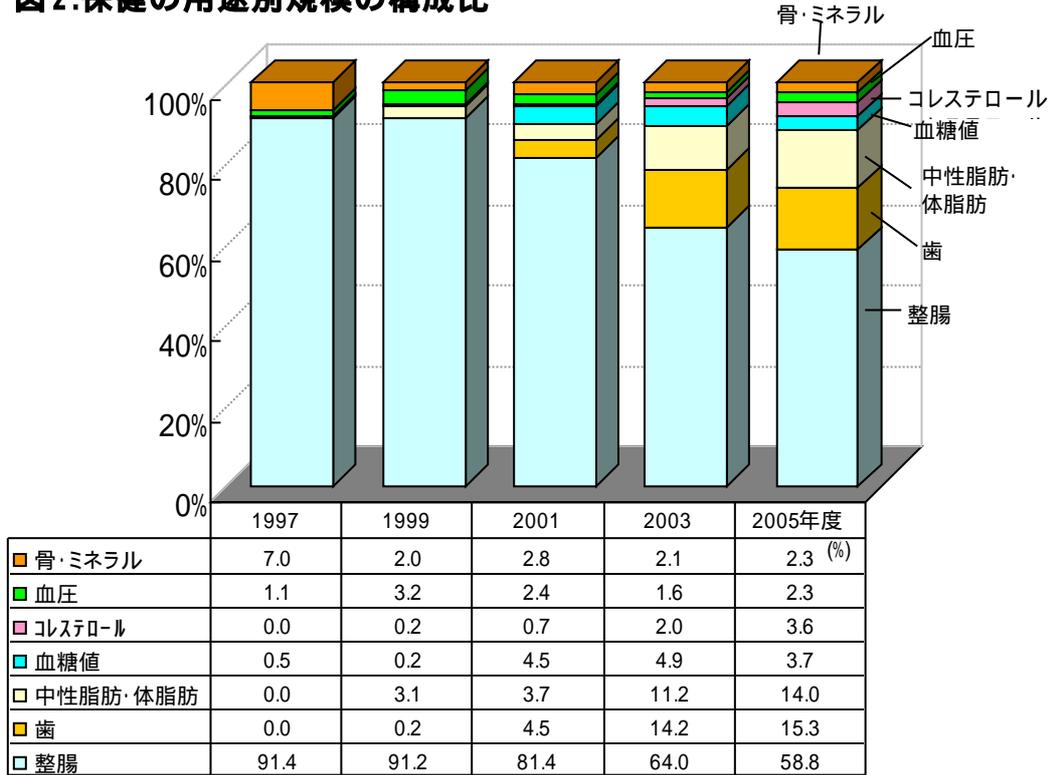
血糖値関連は44億円減(前回比16%減)でやや下降し、骨・ミネラル関連は23億円増(前回比19.3%増)となったが、まだ市場は小さい。

表1. 保健の用途別規模の推移

(年度)

		1997	1999		2001		2003		2005	
		億円	億円	97比(%)	億円	99比(%)	億円	01比(%)	億円	03比(%)
整腸	オリゴ糖	103.7	91.1	87.9	56.2	61.7	66.8	118.9	58.9	88.2
	乳酸菌	978.8	1,863.0	190.3	3,171.1	170.2	3,420.8	107.9	3,516.8	102.8
	食物繊維	119.1	115.5	97.0	128.1	110.9	141.8	110.7	129.9	91.6
	小計	1,201.6	2,069.6	172.2	3,355.4	162.1	3,629.4	108.2	3,705.6	102.1
コレステロール		0.3	4.3	1,433.3	27.9	648.8	113.6	407.2	228.0	200.7
血圧		13.8	71.6	518.8	100.0	139.7	88.1	88.1	147.7	167.7
骨・ミネラル		92.0	44.9	48.8	113.9	253.7	120.1	105.4	143.3	119.3
歯		0	3.7	-	186.7	5,045.9	804.8	431.1	961.0	119.4
血糖値		6.7	5.2	77.6	184.3	3,544.2	277.4	150.5	232.9	84.0
中性脂肪・体脂肪		0	70.0	-	152.4	217.7	635.4	416.9	880.7	138.6
合計		1,314.5	2,269.3	172.6	4,120.6	181.6	5,668.8	137.6	6,299.2	111.1

図2.保健の用途別規模の構成比



(3)流通経路別市場構成

アンケートに基づき、流通経路別売上構成も算出した。経路別構成に大きな変化はなかったが、今回は「その他」ルートの中で、駅売店によるチューインガムの販売が目立った。(表2)

表2.流通経路別市場構成

(年度)

	1999		2001		2003		2005	
	億円	構成比	億円	構成比	億円	構成比	億円	構成比
スーパー・デパート	1,120	49.4	1,948	47.2	2,288	40.3	2,663	42.3
コンビニ	287	12.6	601	14.6	884	15.6	925	14.7
戸配	698	30.8	1,271	30.8	1,948	34.4	2,069	32.8
食品系ルート小計	2,105	92.8	3,820	92.6	5,120	90.3	5,657	89.8
医薬品系	93	4.1	156	3.8	171	3.0	196	3.1
通信販売	16	0.7	40	1.0	44	0.8	43	0.7
その他	55	2.4	105	2.6	334	5.9	403	6.4
計	2,269	100.0	4,121	100.0	5,669	100.0	6,299	100.0

・表示許可・承認の状況

1. 表示許可・承認の総数

2004年から2005年にトクホの表示許可を受けた食品は171品目であり、特に2005年の表示許可件数は94品目で年間許可件数として過去最大を記録した。これにより2005年12月末現在の表示許可・承認の総数は569品目となった(図3)。

保健の用途別許可品目数は(表3)のとおりである

図3. 表示許可・承認品目数の年次推移

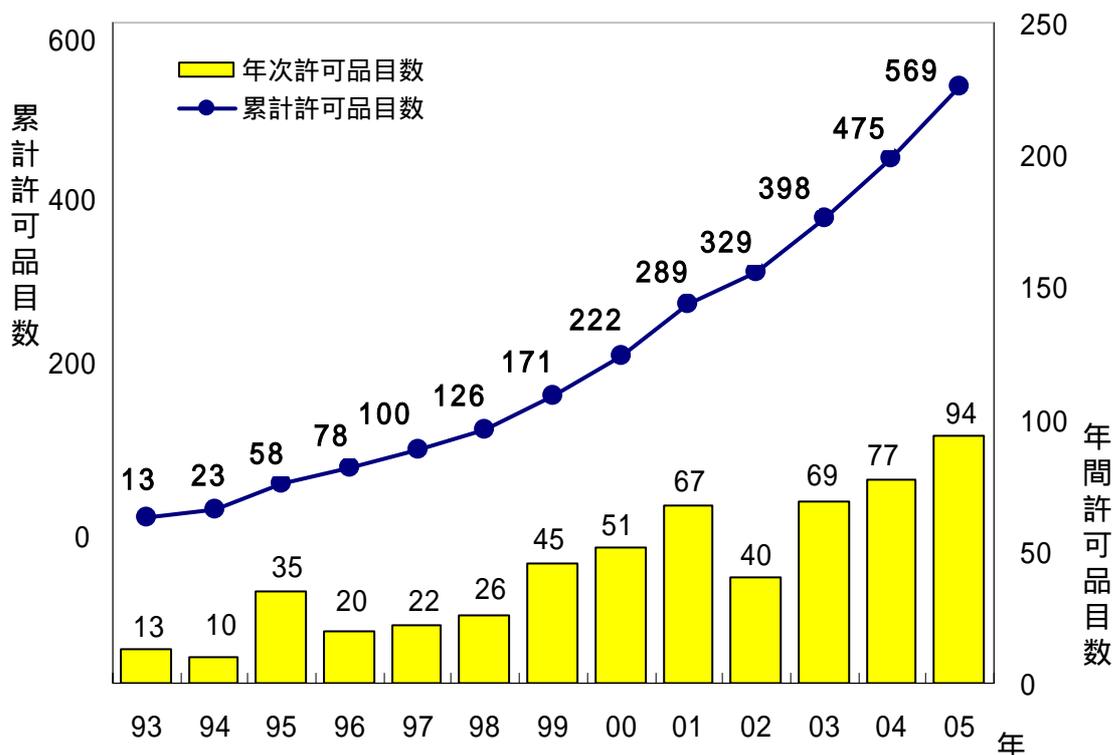


表3. 保健の用途別許可品目数の推移

保健の用途		1997	1999	2001	2003	2005
		品目数	品目数	品目数	品目数	品目数
整腸	オリゴ糖	40	53	62	62	76
	乳酸菌	8	36	55	61	69
	食物繊維	24	32	50	70	104
	小計	72	121	167	193	249
コレステロール		12	14	37	52	86
血圧		4	9	24	38	64
骨・ミネラル		8	10	18	23	33
歯		3	5	13	26	34
血糖値		1	3	19	49	72
中性脂肪・体脂肪			9	11	17	31
合計		100	171	289	398	569

2. 新関与成分の状況

2004年から2005年の間に表示許可を受けた171品目の中で、新関与成分の品目をまとめた。すでに発売され大きな市場を獲得した品目があり、今後成長が予想される血压関連品目の多いことが注目される。(表4)

表4. 2004～2005年の新関与成分

関与成分	保健の用途
わかめペプチド	血压
-アミノ酪酸(GABA)	血压
ナリペントペプチド(AKYSY)として	血压
酢酸	血压
ゴマペプチド(LVYとして)	血压
LC1 乳酸菌	整腸
コーヒー豆マンノオリゴ糖(マンノピオースとして)	整腸
ビフィズス菌 Bb-12 (Bifidobacterium latiss)	整腸
緑茶フッ素	歯
ブロッコリー・キャベツ由来のSMCS(天然アミノ酸)	コレステロール

. むすび

トクホの市場規模は、6,299 億円(2003 年比 11.1%増)の市場規模となった。当初は整腸関連、特に乳酸菌の許可品目の増加にあわせて急成長してきたが、2003 年頃から伸び率は縮小し今回も微増にとどまった。整腸関連に代わって中性脂肪・体脂肪、コレステロール、血圧および歯関連の商品群が成長し、規模拡大へつながってきた。

調査を開始した 1997 年以降、市場規模が拡大をつづけてきたのは、特定保健用食品が生活習慣病の一次予防に役立つものとして、国民・消費者にその存在が普及・浸透してきたことと、企業の開発努力による成果と考えられる。

当協会は、今後も消費者へ適切な情報提供を図るとともに、企業への支援活動を行い、さらなる市場規模拡大に貢献していきたい。